

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	橋本市立 清水小学校	前田 美紀
学校所在地		
〒 648 - 0041 和歌山県橋本市清水2014番地 Tel 0736(42)0307 fax 0736(32)0460		
担当者名		役職名・担当教科
岸部 銀河		教諭
<p>〔学校の概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の校区は、橋本市の官庁街から紀の川を隔てて南に位置しており、橋本高野橋で結ばれている。民家の多くは、紀の川に沿って南側に細長く東西に街を形成し、旧高野街道の歴史的な町並みを残している地域もある。 地域住民は、大阪方面や和歌山市内方面、奈良方面と多方面へ通勤している。ひらたね柿や清水地域の「はたごんぼ」生産などの農業も盛んである。また、国の伝統的工芸品であるへらブナ釣り竿の里として全国的に名が知られている。古くから高野街道の発展とともに成長してきた校区には数多くの史跡が残され、自然に恵まれた落ち着いた学習環境である。 		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
6年生 12名	職員3名（15名）	高野山
実践研究テーマ		
自ら課題を発見し、自他共に力を合わせて生きていこうとする子どもの育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	地域の世界遺産を知ろう・学ぼう・深めよう～高野山～	
〔キーワード〕 世界遺産 環境教育 情報活用能力 問題解決学習		
〔単元目標〕		
<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産になった「高野山」を探索し、地域の世界遺産に関心を持ち、高野山の歴史的価値について学ぶ。 地域の歴史的な遺産を調べることで、その価値を見だし、地域に対する思いを深め愛着をもてるようにする。 		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体18時間（地域の世界遺産を知ろう・学ぼう・深めよう～高野山～ 18時間）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<ul style="list-style-type: none"> 和歌山県世界遺産センター 県世界遺産マスター 		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産とは何かについて、本やインターネットを利用し調べる。また、その中から自分が興味をもったところやさらに調べてみたいことを記録しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の活動について、興味をもつことができている。 (発言・ワークシート)
2	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産について調べまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産について自分が興味のあることをもとに、調べるテーマを決めさせる。 テーマごとにグループを決め、まとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べるテーマについて調べ、タブレットにまとめている。 (観察)
3	<ul style="list-style-type: none"> 現地見学を通して、高野山について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代育成事業に参加し、高野山についてメモをとりながら見学させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大切なところはメモをとりながら聞いている。 (観察・ワークシート)
4	<ul style="list-style-type: none"> 現地で見たことや聞いたことを付け加えながら、高野山や世界遺産についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現地学習や調べ学習で収集した情報を活用しながら、パソコンでまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教えてもらったことや、パンフレットを参考に積極的にまとめている。 (発言・観察)
5	<ul style="list-style-type: none"> まとめたことを発表し、自分の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで協力して発表する。 各班の発表を聞き、「世界遺産」「高野山」について自分の感想をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の意見をきちんと聞いて、自分の感想をまとめている。 (発言・観察)
〔单元学習の成果と課題〕			
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住む和歌山県には世界遺産に登録されている「高野山」があり、子ども達は興味を持って世界遺産について調べたり、高野山を見学したりすることができた。 実際に訪れたり解説を聞きながら歩いたりしたことにより、「高野山」を身近に感じられるようになった。また、自分たちで守り、次世代に語り継いでいかなければならないという思いをもつことができた。 			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> 実際に世界遺産に指定されている高野山を訪れ、自分たちの足で歩くという貴重な体験をさせていただき、和歌山のすばらしさを知り、郷土和歌山に誇りを持ち、和歌山の自然や文化を大切にしていこうという意識を高めることができた。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住む和歌山には素晴らしい自然や文化があることを知ることができたが、今後どのような形で地域・学校が世界遺産「高野山」に関わっていくのか発展的な学習につなげていきたい。 単発的で終わるのではなく、継続的に取り組んでいけるように学習計画を立てていきたい。 			

様式 2

令和3年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

【校外学習（高野山）】

世界遺産の学習で高野山に行きました。午前中は世界遺産講座を受講しました。午後からは、世界遺産マスターの先生の説明を聞きながら、壇上伽藍～金剛峯寺まで歩きました。その後は、一の橋～弘法大師御廟を歩きました。



【事後学習の様子】

事後学習では、現地学習を通して、見たことや聞いたことをグループで話し合いながら、高野山や世界遺産についてタブレットを使いまとめました。



(子ども達のふりかえりより)

- ・現地学習を通して、「紀伊山地の霊場と参詣道」が文化遺産ということを知りました。また、奥之院の中には、さまざまな武将のお墓があることがわかってとても楽しかったです。
- ・世界遺産センターでは、「知る・学ぶ・守る・歩く」という仕事をしているということが分かりました。また、世界遺産が立候補で決められていることや、外国の世界遺産についても知ることができました。
- ・世界遺産には、文化遺産、自然遺産、複合遺産があって、複合遺産は両方を兼ね合わせている遺産だから少ないということが分かりました。